

2022年10月4日

報道関係者各位

GMO インターネットグループ株式会社

## GMO インターネットグループにプロランナー大迫傑選手が Playing Director (プレイング・ダイレクター) として参画

～「ニューイヤー駅伝 2023」への挑戦が決定！陸上競技界 No.1 に向けチームを大幅強化～

GMO インターネットグループ（代表：熊谷 正寿）は、本日 2022 年 10 月 4 日（火）に開催した記者発表会において、プロランナーである大迫傑選手が GMO インターネットグループに Playing Director として参画し、全日本実業団対抗駅伝競走大会（「ニューイヤー駅伝」）にも挑戦することを発表いたしましたので、お知らせいたします。

今後、大迫傑選手は、GMO インターネットグループの選手として「ニューイヤー駅伝」に出場することはもちろん、Playing Director として、選手のトレーニング、指導、育成に携わり、現監督やコーチ陣とともに、No.1 チームへと強化する役割も担います。

世界での勝負をし続けてきた大迫選手の経験、プロフェッショナルリズムをチームに還元し、「ニューイヤー駅伝」での優勝はもちろん、世界に通用する No.1 アスリートを輩出し、陸上競技界の活性化に貢献すると共に、日本中に笑顔と感動を提供できる「No.1」の陸上チームになることを目指して活動してまいります。



2022年10月4日（火）開催「大迫 傑選手 GMO インターネットグループ 参画記者発表会」

（写真左から）・GMO インターネットグループ株式会社 取締役 グループ副社長執行役員（陸上部 部長） 安田 昌史／同社代表取締役グループ代表 熊谷 正寿 / 大迫 傑 /GMO インターネットグループ（陸上部）<sup>※1</sup> 監督 亀鷹 律良 /同 EKIDENダイレクター（青山学院大学 教授 / 陸上競技部長距離ブロック監督） 原 晋

## 【GMO インターネットグループ参画の背景】

GMO インターネットグループは、インターネットをより豊かで便利にする「No.1 サービス」の提供をモットーに掲げ、各種インターネット関連事業を展開する総合インターネットグループです。

2016年4月には、「一番素晴らしいサービスを開発・提供し、お客様が一番喜んでいただく」という、ひたむきに努力する企業姿勢を、陸上競技支援を通じて社会・人々にお伝えすべく、実業団陸上部を創設しました。そして目標を「世界に通用する No.1 アスリートの育成」として掲げ、GMO インターネットグループ（陸上部）<sup>※1</sup>の活動を続けています。

その中で、2020年には「ニューイヤー駅伝」へ初めての出場を果たしました。以降、同大会に毎年出場し、「優勝」を勝ち取るべく日々努力を重ねています。

大迫傑選手は5000mなど多くの種目で日本記録を保持するプロランナーで、早稲田大学時代には箱根駅伝に4大会連続で出場し好成績を残し、2021年の東京オリンピックでは、マラソン競技において6位入賞（日本人最高位）を果たしました。また、常に「No.1」を目指して世界と戦い続けているだけでなく、次世代育成のためのプロジェクト「Sugar Elite」の活動にも取り組み、日本陸上界全体を活性化すべく活動を行っています。

このように、事業・スポーツ支援ともに「No.1」を目指し取り組んできた GMO インターネットグループの姿勢と、マラソンや駅伝などの長距離種目で数々の日本「No.1」の実績を上げながら、次世代の育成や、陸上選手のさらなる価値向上に取り組み続けている大迫傑選手の思いが合致し、このたび Playing Director（プレイング・ダイレクター）として、GMO インターネットグループに参画することとなりました。

GMO インターネットグループと大迫傑選手は、共に陸上競技界の活性化に貢献し、日本中に笑顔と感動を提供できる「No.1」の陸上チームになることを目指して活動してまいります。ぜひこれからの GMO インターネットグループと大迫傑選手にご期待ください。

## 【10月4日開催 記者発表会におけるコメント】

### ■GMO インターネットグループ 大迫傑選手のコメント

新しい挑戦を GMO インターネットグループの皆さんとチャレンジできることをうれしく思います。

なぜ、NIKE 所属でありながら、プロアスリートとしてニューイヤー駅伝への挑戦を決めたのかというと、陸上界の活性化のために重要だと思ったからです。自分が走ることでニューイヤー駅伝そのものがより注目され、一緒に走る選手たちが自信やプライドを持って競い合うことができるようになり、駅伝から世界に飛び立つ選手たちの背中を押すことがかなうのではないかと思います。

もうひとつの理由は、大学を卒業してからの陸上界は、大きく分けると二つの選択肢があり、ひとつは実業団に入ることで、もうひとつはプロ選手として活動することです。これから僕は、3つ目の選択肢である、プロアスリートでありながら実業団の駅伝を走っていく、ということにチャレンジしたいと思っています。僕自身が挑戦することで、これから大学を卒業する選手や、プロとして世界に飛び立つ選手たちに、「3つ目のオプション」を定義できればと考えました。これにより選手の活動の幅が広がり、より選手が世界に羽ばたきやすくなる環境を作っていけたらと思っています。



また、僕は「Sugar Elite」という活動を通し、子供たちに背中を見せていく、押していく、ということ意識して次世代育成にあたっています。GMO インターネットグループとダイレクターとして一緒に活動することにより、選手と近い関係になることができ、指導する側、される側の気持ちを理解することで、選手の育成にプラスになる部分が多いと思っています。

GMO インターネットグループとご一緒させていただこうという気持ちに至った理由は、チーム全体にすごくパッションがあり、陸上界のゲームチェンジャーとなっていきたい、という大きなゴールが、僕が陸上生活でこれからやっていきたいことと一致したからです。ニューイヤー駅伝もそうですが、GMO インターネットグループとどういったゲームチェンジができるのか非常に楽しみにしています。皆さんの期待に精一杯応えていきたいと思います。

## 大迫 傑選手プロフィール

大迫 傑(おおさこすぐる)

1991年5月23日 生/東京都町田市出身

中学校で本格的に陸上競技を始め、駅伝の強豪校、長野県佐久長聖高校に進学。

高校2年生の時に全国高校駅伝の最終7区で区間賞を獲得し、チームの初優勝に貢献。

その後、早稲田大学に進学し箱根駅伝では2回の区間賞を獲得、2013年モスクワ世界選手権10000m代表にも選出される。

卒業後は日清食品グループに入社し、2015年元旦のニューイヤー駅伝で1区区間賞を獲得する。同社を3月で退社し、かねてから練習拠点であったナイキ・オレゴン・プロジェクトに加入。

2021年東京オリンピックでは男子マラソン日本代表に選出され6位入賞を果たす。東京オリンピックを最後に一時引退を表明するも2022年2月に現役復帰。

現在、プロランナーとして活動中。

### ■GMO インターネットグループ株式会社 代表取締役グループ代表 熊谷正寿のコメント

大迫選手のGMO インターネットグループへの参画を心から歓迎いたします。

GMO インターネットグループは、1995年にインターネット事業を開始し、27年間ひたむきに、一番お客様に喜んでいただけるサービスを、自ら開発することで多くのお客様にご利用いただけてきました。

絶えず、一番いいものをご提供し、一番喜んでもらうことを経営のポリシーとしてきました。そして6年前に、ナンバーワンを目指す企業姿勢を映す鏡として社会人陸上部を創部いたしました。3年前からニューイヤー駅伝にも参加していますが、初年度は5位、2年目、3年目は9位でした。私どもは、一番いいサービスを通じて、一番お客様に喜んでいただくことをポリシーとしているので、これは理想の順位ではありません。

ベンチャーとして、ありとあらゆる知恵、努力、そしてパッションで、不可能を可能にし、早期にニューイヤー駅伝で1位を取りたい、という願いを持っています。それを大迫選手と共有し、たぐいまれなる才能とたゆまぬ努力を私どもの陸上部に注入していただくべく、グループへの参画をお願いし、ご快諾をいただきました。

ベンチャーの知恵とありとあらゆるたゆまぬ努力、そして、われわれのスピード感で短期に競合を打ち負けし、圧倒的ナンバーワンの地位を獲得したいと心から願っています。

その思いを、亀鷹監督率いる現陸上部と、大迫選手と共有し、本日この場にいたりしました。



## 【記者発表会概要】

■開催日時：2022年10月4日（火）10:00～11:00

■開催方法：

- ・「ZOOM ウェビナー」を用いたオンライン開催
- ・リアル会場でのオフライン開催

■登壇者：

- ・大迫 傑 選手（大迫傑選手は在米のため、当日はモニターにてライブ参加）

GMOインターネットグループ株式会社

- ・代表取締役グループ代表 熊谷 正寿

- ・取締役グループ副社長執行役員（陸上部 部長） 安田 昌史

GMOインターネットグループ（陸上部）※1

- ・監督 亀鷹 律良

- ・EKIDENダイレクター 原 晋

■内容：

- ・ご挨拶 - GMOインターネットグループ株式会社 代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
- ・大迫選手参画発表 - 大迫傑選手
- ・登壇者によるトークセッション - 「ニューイヤー駅伝2023」への意気込み等
- ・質疑応答
- ・フォトセッション



**【GMOインターネットグループ（陸上部）※1について】**  
**(<https://athletes.gmo.jp/about/>)**

選手：13名

倉田祥平 渡邊利典 橋本峻 一色恭志 下田裕太 森田歩希 林奎介 キブキルイ ビクター コリル  
吉田祐也 村山紘太 ギデオン キブケルティッチ ロノ 千明龍之佑 今江勇人

監督：亀鷹律良

コーチ：伊藤公一

マネージャー：須藤祐太郎

マネージャー：檜山雄一郎

EKIDENダイレクター：原晋

特別顧問：根来秀行

※1 GMOインターネットグループ（陸上部）の表記について

上記、登壇者肩書・氏名の欄にて記載している「GMOインターネットグループ（陸上部）」の（）書きについては、GMOインターネットグループ株式会社とのすみ分けのため、（陸上部）と付けて記載しております。チームの正式名称は（陸上部）が付きませんので、ご注意ください。

---

**【報道関係お問い合わせ先】**

●GMO インターネットグループ株式会社

スポーツ推進室 本多・工藤

TEL：070-4132-0097

E-mail：athletes-mgnt@gmo.jp

●GMO インターネットグループ株式会社

グループコミュニケーション部

広報担当：新野

TEL：03-5456-2695

E-mail：[pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

**【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：<https://www.gmo.jp/>）**

会社名	GMO インターネットグループ株式会社（プライム 証券コード：9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円